



2022-2023 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

例会日：毎月第2・第4水曜日

場所：各務原市産業文化センター2階

住所：各務原市那加桜町2-186

TEL (058)382-4649 FAX (058)382-4719

会長：左高 洋 幹事：金武 峰之

副会長：小島 博彦 会報：松原 竜二

本日のプログラム 1) 2022年10月19日(水) 9:00~
パークレンジャー活動

場所：各務原市民公園 南東部花壇

次回例会の予告 2) 2022年10月19日(水) 9:00~
パークレンジャー活動

場所：各務原市民公園 南東部花壇

出席委員会

会員総数 30名(出席免除3名)(2022.7.1 現在)

前回 10月12日 補正後出席率 48.15%

前々回 9月28日 補正後出席率 66.67%



IMAGINE
ROTARY

イマジン ロータリー

第2765例会

令和4年10月12日(水)

No.0702



～外部卓話(地区R財団 資金管理小委員会 委員長 澤田 哲郎 様)～

司会進行

金武 峰之 幹事

お客様ご紹介及び会長挨拶

左高 洋 会長

皆さん、こんばんは。本日も宜しくお願いします。

先ず初めにお客様の紹介をさせていただきます。

・地区R財団資金管理小委員会(多治見リバーサイド
ロータリークラブ所属)委員長 澤田 哲郎 様

・地区インターアクト委員会(岐阜サンリバーロータ
リークラブ所属)委員長 今津 美憲 様

江南ロータリークラブよりビジター参加として 沢
田 昌久 様、杵本 哲一 様をお迎えしております。
本日はどうぞ宜しくお願い致します。

本日は地区より R 財団の卓話をお願いしております。
また、毎年お願いしております 150\$寄附金は地区補助
金、グローバル補助金、奨学金等に使われております。
今年も 22 日に地区補助金事業といたしましてサッカー
一教室を開催しますが、これも 3 年前の寄附金により

成り立っている事業です。本日は、改めて R 財団につ
いてお話しを頂きたいと思っておりますのでどうぞ宜しく
お願い致します。



3分間スピーチ



河野 春男 君
皆さん、こんばんは。コロナも随分落ち着いてきましたが、第7派の時に私はコロナに感染してしまいました。松井先生には大変お世話になりました。

症状は全くありませんでしたが、家族が感染をしたのでその際一緒に検査をしたところ陽性でした。なったところやはり、普通の風邪とは症状が違うのは多少感じました。”味覚が無い”という症状は一瞬ありましたので、普通の病気ではないという気はしました。今では第8派が来ると言われていますが、もうそろそろコロナによる行動規制やワクチンの義務化みたいなものは無くなっていくのではないかと思います。普通の風邪と同じ扱いにはならないにしても、病気は病気として受け入れなければならないのではないかと思います。しかし 飲食店に対し補助金を出す事は、既に経済的に不可能だと思います。

ロータリーの活動においても徐々に元に戻ってくるのではないかと思います。ここ 2~3 年コロナで停滞していた活動を今期、来期で徐々に活動を再開していかなければ、本当に会員離れが進んでいくのではないかと思います。クラブ内の話ではありますが、各務原高校インターアクトクラブも廃部となってしまいました。クラブからのアプローチが少なかった事もありますが、非常に残念な結果となってしまいました。この様な事も踏まえ、新たに各務原西高校も含めアプローチしていきたいと思っています。

ニコボックス報告

松井 雅史 会長エレクト



・澤田 哲郎 様
本日、各務原ロータリークラブの皆様にはお世話になります。宜しくお願い致します。

・左高 洋 会長 澤田様、本日は宜しくお願ひします。

・金武 峰之 幹事 皆さん、こんばんは。澤田様、今津様、沢田様、杵本様、本日は各務原ロータリークラブへお越し頂き有難う御座います。

・小島 博彦 副会長 澤田様、本日は宜しくお願ひします。

・松井 雅史 会長エレクト 澤田様、本日は勉強させて頂きます。どうぞ宜しくお願ひします

・藤井 孝一 君 先日平均寿命の発表があり、男子 81.4 歳、女子 87.5 歳でした。私は 81 歳 7 か月となり平均寿命を越えました。今後共健康に注意していきたいと思ひます。

・平井 正晴 君 澤田委員長、本日は宜しくお願ひします。永田先生、本日はお世話になりました。

・山田 昭仁 君 地区 R 財団資金管理小委員会 澤田 哲郎様、本日卓話宜しくお願ひ致します。

・河野 春男 君 澤田様、本日は卓話宜しくお願ひします。

・小林 幹男 君 澤田様、本日の卓話宜しくお願ひします。

・大野 広 君 澤田委員長、本日は卓話宜しくお願ひします。

・横山 浩之 君 澤田様、今津様、本日宜しくお願ひします。

・片岡 紀生 君 澤田様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

・可児 昌則 君 澤田 哲郎 様、ようこそお出で下さいました。本日の卓話、宜しくお願ひします。

R 財団委員会より寄付金のご案内

左高 洋 会長

毎年 10 月は“米山月間”となっており、会員の皆様には米山特別寄附をお願いしております。金額は 1 人 1,000 円以上です。2,000 円以上寄付して頂きますと確定申告用の免税証明書が発行されます。因に今回の免税証明額は、59 期下期会費より支払いました普通寄附金 2,500+60 期上期会費より支払いました普通寄附金 2,500+今回皆様をお願いしてます特別寄附金の合計額が証明書として発行されます。

そして 11 月は“R 財団月間”となっており、会員の皆

様には 150 \$ 寄付をお願いしています。これは、年次プログラム基金で、寄付の総額に応じて 3 年後の地区補助金事業にいくら補助金がもらえるかが、決まるものです。今年の地区補助金事業時に地区より支給された金額 (348,859 円) は、57 期に皆様からご協力頂いた金額になります。63 期の補助金事業の為に、皆様ご協力の程宜しくお願い致します。

150 \$ 寄付は、毎月のロータリーレートによって金額が異なります。現段階では未だ 11 月のレートが発表されておりませんので、11 月に入りロータリーレートが分かり次第ご案内をさせて頂きたいと思っております。11 月例会で再度ご案内させて頂きませんが、皆様ご協力の程宜しくお願い致します。

本日のプログラム 卓話

地区 R 財団資金管理小委員会 (多治見リバーサイドロータリークラブ所属) 委員長 澤田 哲郎 様



皆さん、こんばんは。本日は宜しくお願い致します。地区 R 財団資金管理小委員会で、地区へ依頼があったクラブへ順番に回っております。以前は本巢 RC へお邪魔させて頂きました。各務原 RC さんは、個人的なお付き合いで横山 浩之さんが見えるので気軽に来ることが出来ました。私は元々岐阜県庁の役人で柔道部の部長もやっており、各務原市内の道路も一緒に作っていました。そういった関係ですので各務原 RC へはととても来やすかったです。

今日は R 財団についてという事で、今一番のメインは 2 月に勃発しましたウクライナとソ連についてです。2760 地区 名古屋和合 RC 会長の福田 哲三さんが、前年度 2760 地区 R 財団委員長を務められており、岐阜へ講演をしに見えた際、”ウクライナを助けて欲しい”というお話を伺いました。戦争が始まると皆、地下へ逃げます。食料及び飲料水は有りますが、衛生面での物資 (おむつ、生理用品、薬) が不足している事に直面しました。そこで福田さんより 2630 地区か

らも寄付をお願いします、とお話しがありました。関 RC の堀部さんと協議の上、2630 地区会員 3,000 名から 3,000 円/1 人の寄附を集める運びとなりましたが、それでは間に合わないとの事で、急遽財団のポケットマネーから 10 万ドル (1,400 万円程) を日本で一番最初に寄附しました。それから東京 RC も寄附を出しました。2630 地区は、事後にはなりますが皆さんから寄附を募り、集まった金額が 700 万円程になりましたので、一旦本部の災害応援基金に預け何を必要としているのかを確認した所、消防車が欲しいとの事でした。しかし、先日現地より写真が届き確認をしたところ、タンクローリーと工作機械車が写っていましたので、これに変わったのだな、と思いました。お役に立てて非常に良かったと感じました。

もう一つロータリー財団で力を入れている事業が、ポリオ撲滅活動になります。日本は、三種混合の予防接種をしていますのでゼロですが、世界ではパキスタンとアフガニスタンでまだまだワクチンが必要です。今期 高橋ガバナーは、どうしても『End Polio』活動を行いたいと言う事で、岐阜バスと三重交通で市バスにポリオ撲滅のラッピングバスを走らせる事業を行っています。先日出発式に行って参りましたので、岐阜市内を走っているはずですが、日本でロータリーと言えば『ポール・ハリス』ですが、福田さん曰くアメリカでは誰も教えないのでポール・ハリスを知らないと言いますので、大変驚きました。ポール・ハリスも米山梅吉も 1868 年 (明治元年) 生まれです。亡くなったのが米山梅吉 昭和 21 年、ポール・ハリス 昭和 22 年になります。どちらも同じ時代を生きた人ですが、幼い頃から苦勞をし今の地位を気づいた先人であります。

ロータリー財団の標語といたしまして『世界でよい事をしよう』 Doing good in the world

ロータリー財団の標語といたしまして『世界でよい事をしよう』 Doing good in the world

ロータリー財団の標語といたしまして『世界でよい事をしよう』 Doing good in the world



ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」

Doing good in the world

1905 年にロータリーが発足してから 12 年後の 1917 年にアーチ・クランフによって財団基金が設立されました。

国際ロータリーのロータリー財団



ロータリー創設者
ポールハリス
(1866-1947)

ロータリー財団の父
アーサー・クラフツ
(1889-1951)

ロータリー財団は国際ロータリーに併設された財団法人です。

1917年、アーサー・クラフツが基金設立を呼びかけて以来、100年を超える歴史を有しています。

国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団はロータリアンや篤志家からの募りご寄付によって支えられています。

財団では年4回のセミナーを開催致します。

財団の制度は毎年内容がよく変わりますので、セミナーには必ず出席して頂き、情報を得てクラブに役立てて頂きたいです。

地区ロータリー財団部門のセミナー

年間4回のセミナーを行います

1. 地区ロータリー財団研修セミナー(本日7月23日)
クラブの財団プログラムへの参加意欲を高める
2. 補助金管理セミナー(11月5日予定)
クラブ「MOU」実施の説明、補助金申請のポイント
3. 会長 エレクト研修セミナー(例年3月)
会長エレクトに財団プログラムの情報提供
4. 地区協議会分科会(例年4月)
クラブのロータリー財団委員長への情報提供

毎年変わるロータリー財団の制度

ロータリー財団の制度は頻繁に変更されます。

1. 地区補助金、グローバル補助金事業の資金調達制度変更
2. 地区補助金を地区が使用できる総額の増減
3. 災害救援基金や大規模プロジェクトの創設
4. 第2630地区の補助金支給規定の変更
5. **ローターアクトクラブの補助金申請が可能に!!**

ロータリー財団セミナーには必ず出席して情報を掴んでください

寄附をしたら補助金申請をし、補助金を利用して活動をして下さい。各務原 RC では地区補助金の他、グローバル補助金として奨学生の受入れも考えていると伺いました。グローバル補助金はハードルが高いですが是非とも挑戦をして頂きたいと思います。

ロータリー財団への寄付金と補助金事業

財団へは寄付するだけではありません。

寄付をして賢く利用しましょう。

会員数の少ないクラブが増えています。

まとまった事業資金が作れないから、目立った奉仕が出来ない。

財団を利用すれば活動資金を手に入れることが出来ます

例えば、50人のメンバーが150%寄付をすると7500%。

使用できる地区補助金の限度額は10000%。

そのほか、奨学生の排出やグローバル補助金を利用できます。

財団への寄付は、クラブの活動資金の貯金です。

ロータリー財団への寄付金と補助金事業

現在のロータリー財団の寄付金シェアシステムは2013年-14年度からスタートしました。

2630地区において現在までに実施されました地区補助金・グローバル補助金による奉仕事業総数は235件、奨学金による留学生は24名、その財団活動資金の総金額は約135万ドル(約1億6千万円)という大きな成果を積み重ねていただきました。本年度も26件の地区補助金事業と1名の奨学生が採択されています。おおよそ、1.2万8千%。(約1600万円)です。

このように2630地区の多くのクラブが財団プログラムを利用して地域や世界の人道奉仕に貢献されています。

ロータリー財団寄付金シェアシステムは2013年度よりスタートし、2630地区に於いては現在までに奉仕事業総数235件、奨学生による留学生24名、活動資金総額135万ドル(約1億6,000万円)程使用させて頂きました。ロータリーの使命は、世界理解、親善、平和を維持していく事にあります。これらを達成できるように一人でも多くの地域や人に奉仕し貢献して頂きたいです。

国際ロータリーの使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

シェアシステム(寄付金の流れと補助金制度)



補助金の財源(寄付金の種類)

年次基金寄付

3年前の寄付金が、ほぼ全額地区で使用できる補助金の財源となる Every Rotarian Every Year (EREY) : 「毎年度1人150ドル以上を」と依拠している寄付

恒久基金寄付

寄付金元本には手をつけず、運用収益の50%を地区補助金として分配

ポリオプラス基金寄付

※ 使途指定寄付は地区の補助金の財源にはなりません

◎ロータリー財団への寄付は個人・法人ともに税制上の優遇措置を受けられません

今年5月に私のクラブが30周年記念式典を行いました。その際、以前RI会長を務められました田中作治さんをお招きし色々お話しを伺いました。RI会長になる為には最低5,000万円、1億は寄付をしないと出来ない、と伺いました。

グローバル補助金は、

寄付金の種類と目標額（世界目標&地区目標）

年次基金寄付 世界目標1億2500万円。地区目標額150万円/人
Every Rotarian Every Year (EREY) 日本では「あなたも毎年150ドルを」

使途指定寄付 世界目標1億5000万円。地区目標額30万円/人
ポリオ・プラス基金への寄付目標 ケイツ財団を含む1億5000万円。

恒久基金寄付 世界目標9500万円。地区目標額1000万円/クラブ
ロータリー財団が寄付された元本には手を付けず投資運用し、その収益を活動基金として分配 2025年までに20億2500万円の基金を目標とする

◎ロータリー財団への寄付は個人・法人ともに税制上の優遇措置を受けられます

WCS 補助金では、現在タイが多いです。医療機器等が多くみられます。東南アジア諸国でも未だフィリピンとかありますので、是非挑戦してみてください。またグローバル補助金では、三重県が積極的に活動していますので、是非岐阜県も頑張っって申請をして頂きたいと思います。

以上、本日は有難う御座いました。

お礼の言葉

左高 洋 会長



地区R財団資金管理小委員会 委員長
澤田 哲郎 様 有難う御座いました。

